

インターネット上のコミュニケーションと、 対面のコミュニケーションの違いについて

インターネットは私たちの生活に欠かせないコミュニケーションツールとなってきました。子どもたちのあいだでも、無料通話アプリやSNSを使った友達とのやりとりは、日常的なものとなっています。しかし、インターネット上のコミュニケーションは対面のコミュニケーションとは違った特徴があり、上手に使いこなすためには、その違いをしっかりと理解しておくことが重要です。

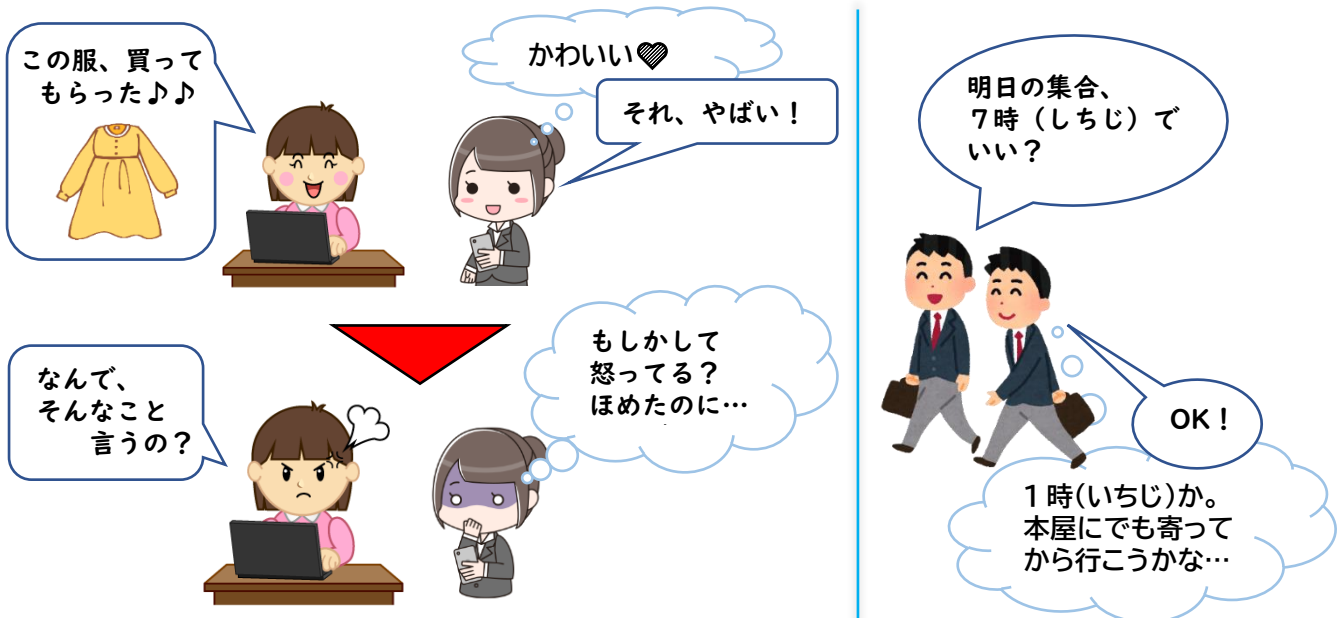
インターネットと対面ではこんな違いが……

インターネット上のコミュニケーションが対面のコミュニケーションと大きく違う点は、やりとりをしている相手の様子がわからないということです。

対面で会話をするとき、私たちは言葉だけではなく、相手の表情や声のトーンなどの情報もふまえて、相手の言いたいことを理解しています。しかし、インターネット上のコミュニケーションではそうした情報はなく、文字だけで相手の気持ちを読み取らなくてはなりません。そのため、お互いの意図が伝わりづらく、誤解が生じてしまうことがあります。

対面のコミュニケーションよりもインターネット上のコミュニケーションの方が優れている部分もあります。それは、情報を正確に伝えることができるという点です。

例えば、待ち合わせの場所や時間を決めるとき、対面の会話だと聞き間違いなどで情報が正確に伝わらないケースがありますが、文字でやりとりをするインターネットだとそうした心配はありません。もし決めた内容を忘れてしまったとしても、やりとりを見返して簡単に確認することができます。



インターネット上のコミュニケーションと対面のコミュニケーションの違いを理解し、「自分の気持ちを正しく伝えたいときは会って話をする」「連絡事項の確認にはメールやチャットを使う」など、状況に応じて手段を使い分けるよう、子どもたちに指導していくことが大切です。